

環境・エネルギー 工学専攻		受験番号	
------------------	--	------	--

平成 26 年度大学院前期課程
環境・エネルギー工学専攻

専門科目
入試問題

科目名	出題番号
環境・エネルギー工学総論	問 1 (1) (2) (3) (4) (必修)
環境エネルギー科学	問 2 (1) (2) (3) (選択)
エネルギーシステム工学	問 3 (1) (2) (3) (選択)
循環型材料・資源工学	問 4 (1) (2) (選択)
共生環境デザイン学	問 5 (1) (2) (3) (4) (5) (選択)
環境計画システム学	問 6 (1) (2) (選択)

【注意】

- ・ 本紙および解答した各問題解答用紙に受験番号を必ず記入すること。
- ・ 問 1 は必ず解答すること。また、問 2・問 3・問 4・問 5・問 6 については、2 題を選択して解答すること。
- ・ 問 2・問 3・問 4・問 5・問 6 の内、選択した問の番号に○印をつけること。

問 2

問 3

問 4

問 5

問 6

平成 25 年 8 月 26 日 (月)

13:00～15:30 実施

環境・エネルギー 工学専攻	共生環境デザイン学【問5】	受験番号	
------------------	---------------	------	--

以下および次頁の（１）～（５）の５つの問いに答えなさい。

- （１）「現代的都市問題」とはどのような問題を指すか。主要な現代的都市問題を５つ挙げるとともに、それぞれについて簡潔に説明しなさい。
- （２）問題解決型の環境デザインプロセスにおいて、最初に実施することは「現状認識と課題の発見」であるが、現状認識と課題の発見のためにはどのような調査を実施するか。２種類の調査方法の名称を挙げて、その調査の実施方法や内容について例示しながら説明しなさい。

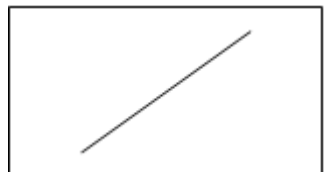
以下に記入すること

（１）解答欄

現代的都市問題		説 明
1		
2		
3		
4		
5		

以下に記入すること

(2)



環境・エネルギー 工学専攻	共生環境デザイン学【問 5】	受験番号	
------------------	----------------	------	--

(3) 騒音を測定する際に用いられる A 特性音圧レベルとは何かを、A 特性と呼ばれる補正回路がある理由を含めて説明しなさい。

(4) 以下の 10 個の用語をすべて用いて、廃棄物処理の施設とプロセスに関する正しい内容の文章を作成しなさい。文章中の各用語に下線を引き、該当する①から⑩までの番号を下線の下に記しなさい。

用語：①一般廃棄物、②管理型最終処分場、③ガス抜き管、④遮水シート、
⑤浸出水集排水管、⑥調整池、⑦浸出水処理設備、⑧コンクリート壁、
⑨サンドイッチ式、⑩覆土

(5) バーチャルリアリティ（VR：人工現実感）に似た技術であるオーグメンテッドリアリティ（AR：拡張現実感）とは①何か、②どのような動作原理か、③環境デザインにどのように利用できるか、を①から③の番号を付して説明しなさい。

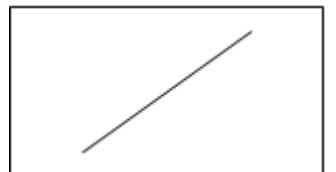
以下に記入すること

(3)

以下に記入すること

(4)

【裏面につづく】



以下に記入すること

(5)

以下に記入すること
